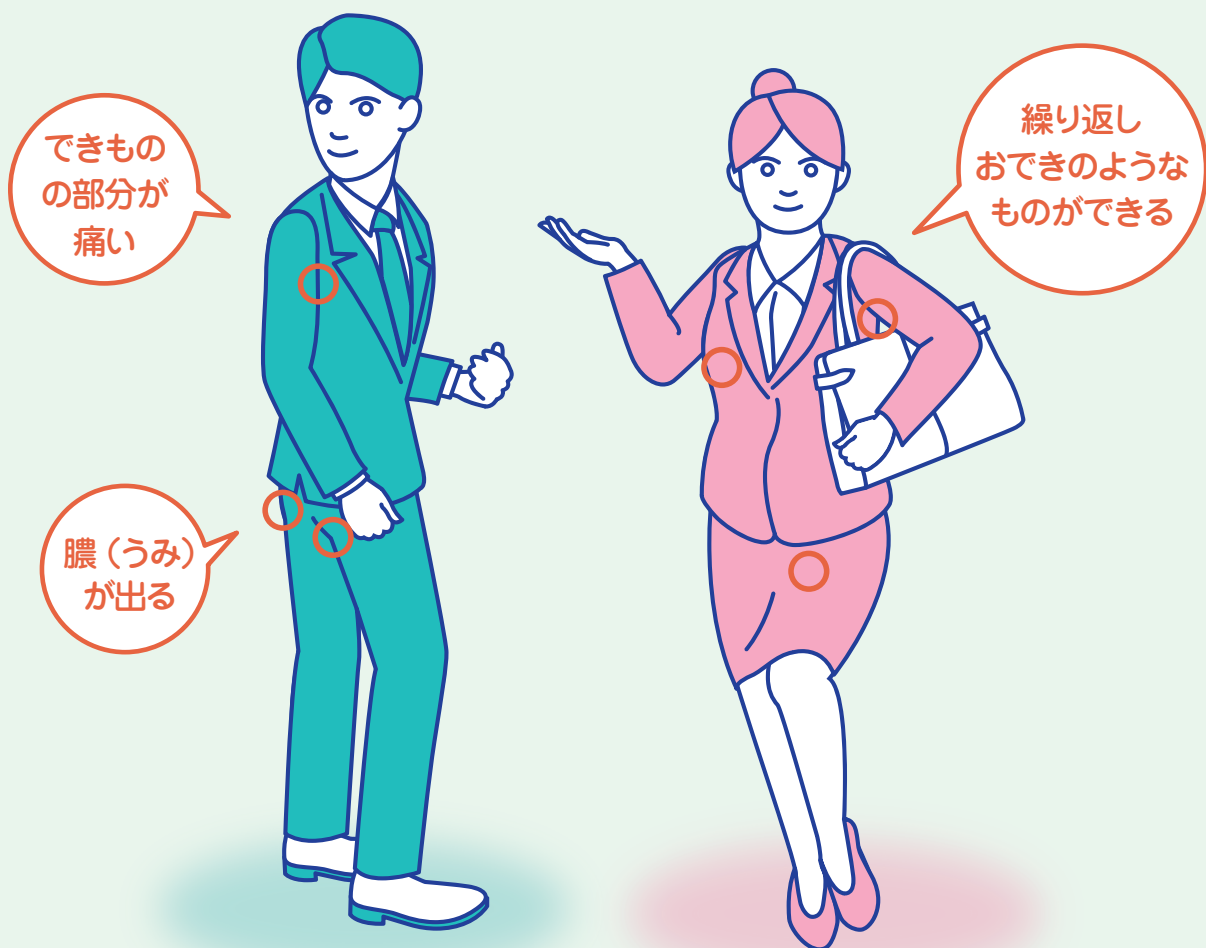


化膿性汗腺炎について 知っていますか？

〈監修〉国家公務員共済組合連合会 虎の門病院
皮膚科 部長 林 伸和 先生



abbvie



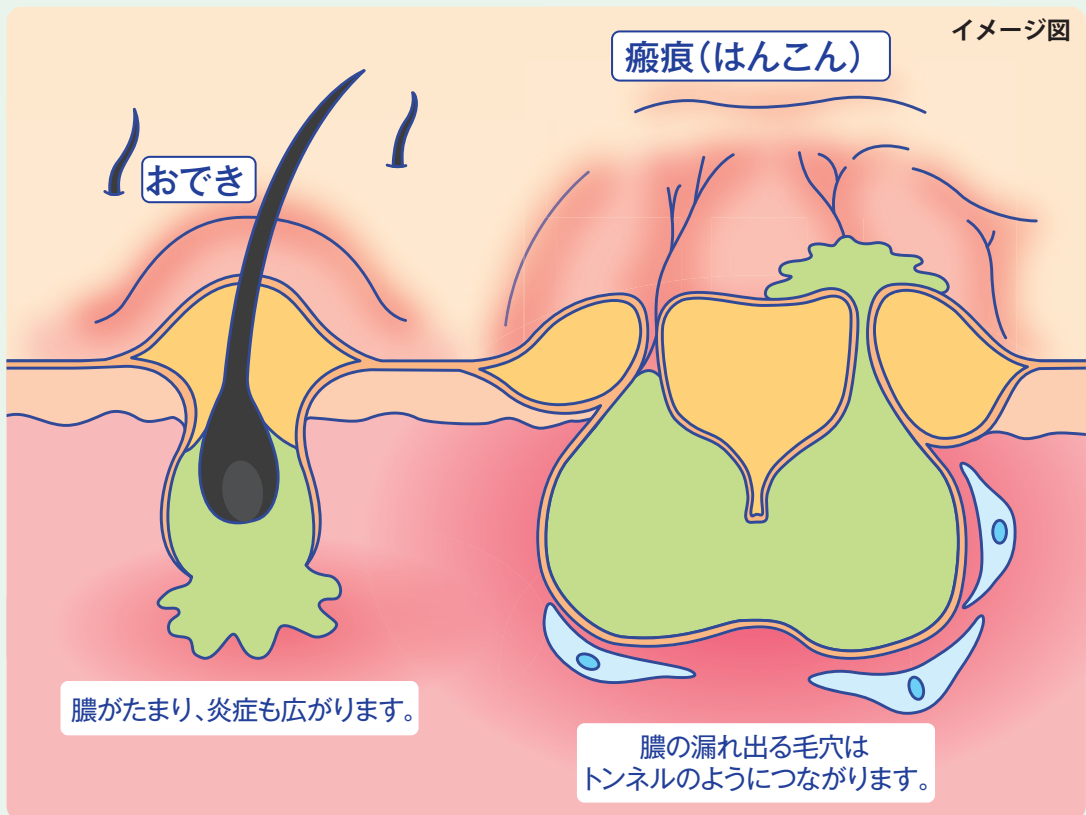
心当たりある方は、皮膚科医にご相談ください。

かのうせい かんせんえん 化膿性汗腺炎とは

赤く腫れ上がった痛いおできが繰り返してできる、
炎症を伴う慢性の皮膚の病気です。

赤く腫れ上がり、痛いおできが繰り返してでき、炎症を伴う慢性の皮膚の病気が
化膿性汗腺炎といわれるものです。

わきの下、お尻、あしの付け根、乳房の下などによくみられ、
20～40歳台の人に発症することが多いことがわかっています¹。
しかし、これまで日本では、この病気についてあまりよく知られておらず、
適切な治療を受けている患者さんが少ないという現実があります。
治療をしないと、徐々に進行して、膿(うみ)がたまり、さらに進行すると、
おできどうしが皮膚の下にトンネルでつながってしまうことがあります。
また、炎症が慢性化または重症化すると、腫れ・痛み・膿などのために、
以前のような日常の活動ができにくくなったり、
瘢痕(はんこん)と呼ばれる痕が残ることがあります。



1. 照井正.皮膚科の臨床. 2018; 60: 353-360

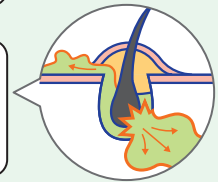
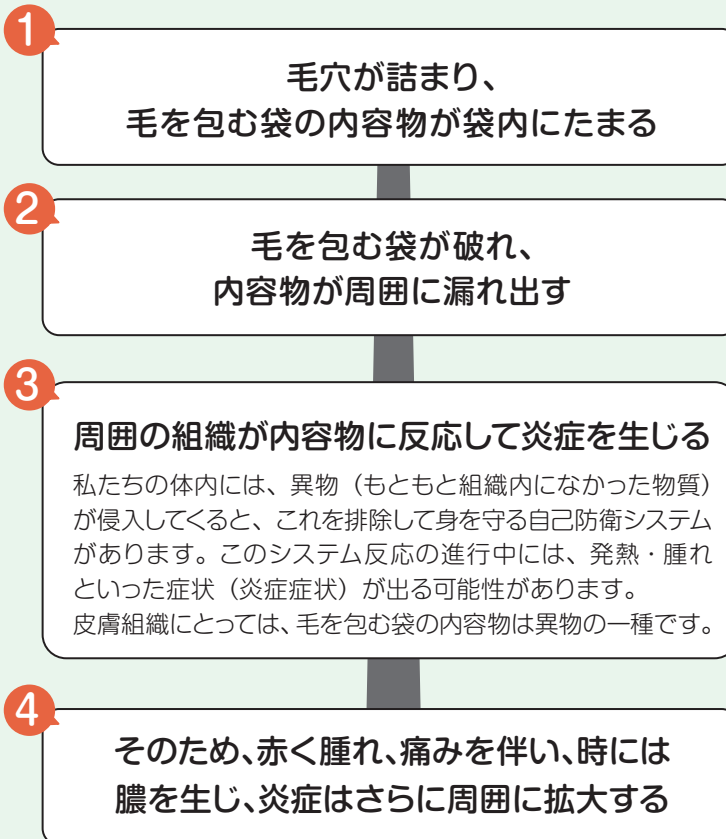
化膿性汗腺炎の**原因**

毛穴の詰まりから始まる炎症が原因と考えられています。

化膿性汗腺炎の原因は、正確にはわかっていませんが、何らかの原因による
毛穴の詰まりが引き金と考えられています。

毛穴が詰まると、毛を包む袋が破れ、内容物が周囲に漏れ出すため、周囲の組織に
炎症を引き起こして、これが腫れ・痛み・膿の原因となることがあります。

《毛穴の詰まりに始まる可能性のある発症・慢性化の流れ》



イメージ図

この繰り返しにより、慢性化していきます。

化膿性汗腺炎の^で

わきの下やお尻、あしの付け根などに

わきの下



症状が進行すると

お尻



症状が進行すると

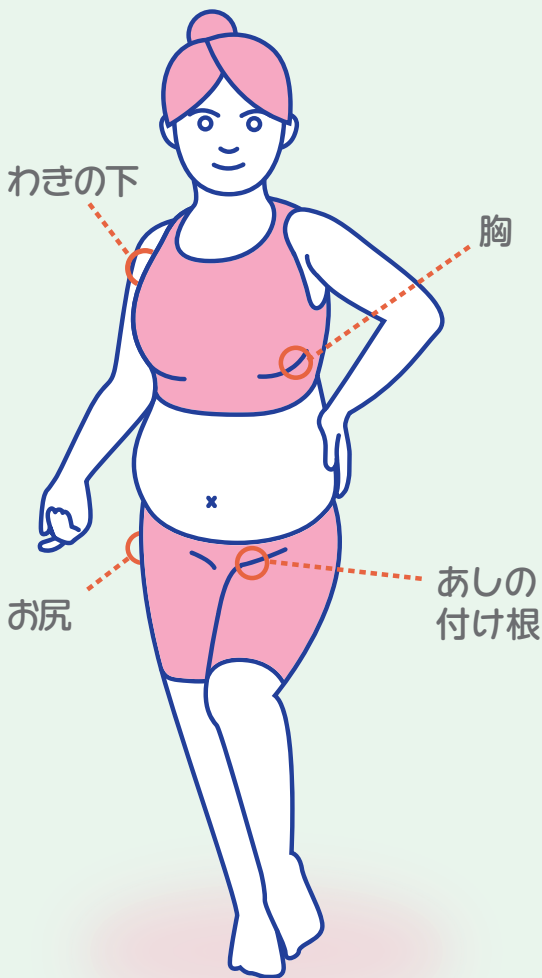
わきの下

お尻

股

きやすい場所

できやすいという特徴があります。



胸



症状が進行すると

あしの付け根



症状が進行すると

進行状態を示すイラストはイメージ図です。

化膿性汗腺炎の**症状**

初めに小さなおできが現れ、徐々に大きくなり
破裂すると膿が出ます。

進行に伴って、最初にできたおできが段階的に形を変える可能性があります。

段階別の形状の変化は、医学的には
「結節(けっせつ)」、「膿瘍(のうよう)」、「瘻孔(ろうこう)」、「瘢痕(はんこん)」と呼ばれます。

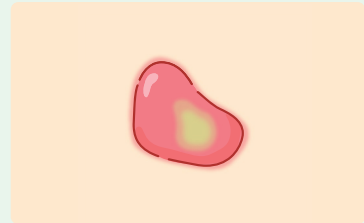
結節(けっせつ)

患部にできるしこりやぶよぶよのようなものです。
時間がたつと大きくなって赤く腫れることがあります。



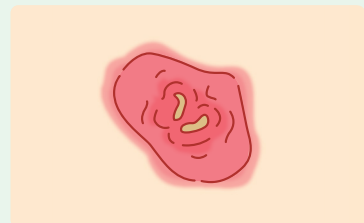
膿瘍(のうよう)

結節の処置をしないと、多くは次第に炎症が進行し、
皮膚の下に膿がたまったりしこり(嚢腫)ができます。
これがさらに大きくなり、嚢腫が破れて膿が出て、
痛みを伴う膿瘍となることがあります。



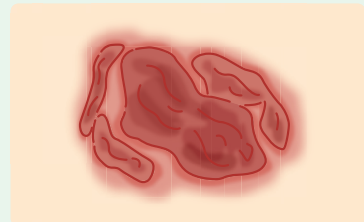
瘻孔(ろうこう)

いくつかの結節や膿瘍が皮膚の下でつながり、
トンネルのような状態です。痛みを伴って、
膿が漏れ出る状態が続くことがあります。



瘢痕(はんこん)

膿瘍の再発を繰り返すと皮膚が厚くなり、太い縄
のような傷痕が残ることがあります。



上記イラストはイメージ図です。

化膿性汗腺炎の患者さんの特徴

化膿性汗腺炎は、20～40歳台で発症し、
腋や臀部などに好発することが特徴です。

● 何歳くらいの患者さんが多いの？

化膿性汗腺炎は、10歳台後半以降の男女に発症することがほとんどで、もっとも発症しやすい年齢は、20～40歳台です¹。

1. 照井正. 皮膚科の臨床 2018; 60: 353-360

● 男性と女性で、差はあるの？

女性の患者さんのほうが2倍以上多く、性別・年代別に分けると、20-29歳の女性のグループに属する患者さんの数が最も多かったという報告がありますが(海外データ)¹、国内では男性の患者さんのほうが多いという報告もあります²。

1. Vazquez BG, et al. J Invest Dermatol 2013; 133: 97-103

2. 照井正. 皮膚科の臨床 2018; 60: 353-360

● どの部位に発症しやすいの？

患者さんを「脇の下または乳房型」「陰部または足の付け根型」「お尻型」の3つの型に分けて数えると、「脇の下または乳房型」の人が48%、「陰部または足の付け根型」と「お尻型」がそれぞれ26%で、約2:1:1で「脇の下または乳房型」が多かったという報告があります(海外データ)¹。

1. Canoui-Poutrine, et al. J Invest Dermatol 2013; 33: 1506-1511

● どのような人がかかりやすいの？

海外のいくつかの報告では、喫煙者と肥満の人が化膿性汗腺炎の患者さんの中に多く、このような患者さんは再発しやすいとされています¹。

多くの研究の結果、喫煙は大いに化膿性汗腺炎と関連があるらしいということは、ほぼ確実とみられています。肥満については、海外の研究では関連性が指摘されていますが、日本人にもこの傾向があてはまるのかについては、現時点では、まだ不明です。

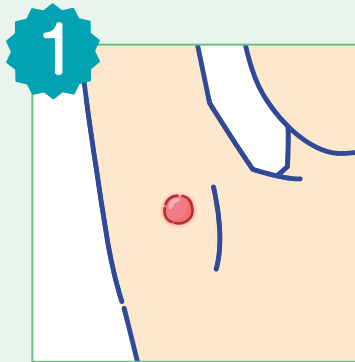
また、患者さん全体で見ると、30～40%の患者さんが遺伝的要素と関連があったと報告されていますが(海外データ)¹、遺伝的要素だけが問題なのか、遺伝的要素と喫煙や肥満が重なった場合が問題なのかについては、まだ、はっきりとしたことは分かっていません。

1. Zouboulis CC, et al. J Eur Acad Dermatol Venereol 2015; 29: 619-644

化膿性汗腺炎の経過

放っておくと症状が進行していくことがあります。

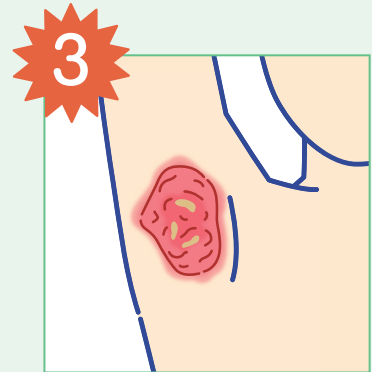
最初は赤く腫れ上がったおできのような症状ですが、進行すると膿がたまり、次第に皮下でつながってトンネルを作るようになることがあります。これが進行すると、患部が広がって、癬痕になったり、炎症を繰り返したりする可能性があります。



1個または複数個、膿がたまっておできができる。



1個または複数個のおできが繰り返してき、範囲が拡大する。



複数のおできが皮下でつながり、炎症が広範囲に及ぶ。



下記イラストはイメージ図です。

Hunger RE, et al. Dermatology. 2017; 233: 113-119

症状がひどくなると、日常生活や仕事に支障が出たり、気分的に落ち込んでしまうこともあります。身体的な影響だけではなく、下の例のような生活の質への影響を少なくするためにも、できるだけ早い機会に皮膚科医に相談して、適切な治療を受けましょう。

- 【例】
- 患部が痛くて、思うように動けない
 - 長時間座っているのが辛く、長時間の会議や遠方への出張が苦痛
 - 気分的に落ち込んでしまう
 - 旅行やレジャーに消極的になる
 - 膿による衣類の汚れや臭いが気になる

化膿性汗腺炎の**治療**

治療の目的は、痛みや腫れ、膿などの症状を軽減し、それを維持することです。

治療の方法は、患部の進行の程度や患者さんの希望により異なります。治療方針は、主治医との話し合いで決まりますが、その選択肢には以下の治療法があります。

外科的処置 (手術を含む)

患部を切開して膿を出したり、おできそのものを取り除く外科的処置が行われます。

内科的治療

患部の状態によっては、切開して膿を出したり、おできを取り除けない場合があります。また、外科的処置をしても、症状が改善しない場合もあります。

そのような場合には、内科的治療として、抗菌薬の飲み薬や塗り薬、生物学的製剤*の注射薬を使ったりします。

* バイオテクノロジーの技術を用いた、生体が作り出す炎症に関連する物質を標的とする薬剤の総称

喫煙者や肥満の人は、化膿性汗腺炎にかかりやすく、また治りにくい、再発しやすいということが海外の研究で示されているので、禁煙・減量の指導も行われます。

また、膿が皮膚外に出ている場合は、その部位から感染することもあるので、感染を予防する治療も行われます。



患者さんが納得して満足できる治療を受けるためにも、主治医に率直な気持ちを伝え、十分に話し合いましょう。

Saunte DM, et al. Br J Dermatol 2015; 173: 1546-1549

化膿性汗腺炎の治療までの道のり

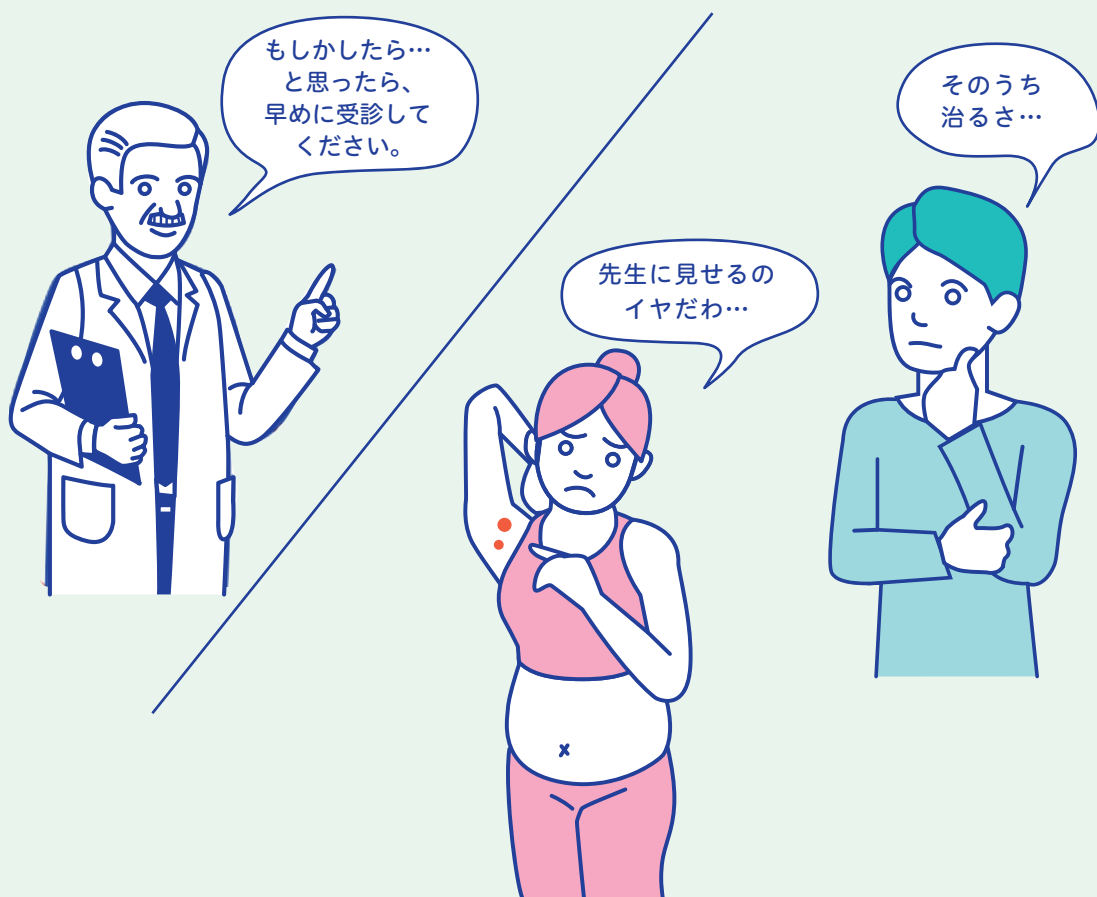
病院できちんと診断されるまでに、長い時間がかかってしまうケースも珍しくありません。

小さなおできから始まるため、「そのうち治るだろう」と放置してしまったり、病院の先生にわき・胸・お尻などを見せたくないという心理から受診が遅れ、重症化してから受診する患者さんが少なくありません。

また、化膿性汗腺炎は、日本での患者さんの数が比較的少なく、症状の現れ方も患者さんによってさまざまのため、病院で診断されるまでに長い年月がかかってしまうこともあります。

早く治療を始めたほうが、その後の治療もスムーズに行われると考えられます。

思い当たる症状があれば、早めに皮膚科を受診しましょう。



化膿性汗腺炎の簡易チェック

簡易チェックの結果が気になる場合は、
皮膚科医師にご相談ください。

症状について、該当するものがありますか。

① おできまたは膿瘍^{※1}、癬痕^{※2}がありますか？

はい いいえ

①で「はい」を選んだ方は②以降もお答えください。

② 腫れや痛みがあり、過去6カ月の間に2回以上再発しましたか？

はい いいえ

③ わきの下やお尻、あしの付け根に症状がありますか？

はい いいえ

④ あなたのご家族に同じようなおできのある方がいますか？

はい いいえ

②～④の2つ以上該当する方は、化膿性汗腺炎の可能性が
あります。

ご注意：これは、「化膿性汗腺炎治療のための欧州S1ガイドライン」を参考に作成しており、
化膿性汗腺炎と診断するためのものではありません。結果をもとに皮膚科医にご相談ください。

※1：赤くて痛いおできのことで、大きくなり破裂すると膿が出てくることが多いです。

※2：膿瘍の再発を繰り返すと、皮膚の肥厚と太い縄様の傷痕が残ることが多いです。

Zouboulis CC, et al. J Eur Acad Dermatol Venereol. 2015; 29: 619-644を参考に作成

監修：国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 皮膚科 部長 林 伸和 先生

化膿性汗腺炎の日常生活の注意

もっとも大切なことは、皮膚科を受診して、医師の指示に沿った治療を続けることですが、悪化させることを防ぎ、より快適な日常生活を送るためにできること・注意するべきことがいくつかあります。

肥満に注意しましょう!!

化膿性汗腺炎は肥満と関連し、肥満の程度と重症度にも関連するという海外の報告もあるので、もし肥満であれば、減量を心がけましょう。

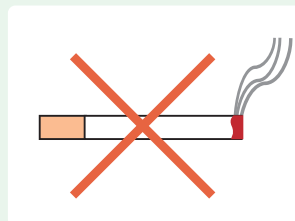
Zouboulis CC, et al. J Eur Acar Dermatol Venere 2015; 29: 619-644



禁煙しましょう!!

喫煙は化膿性汗腺炎を悪化させる要因と考えられています。

もし喫煙の習慣があれば、禁煙しましょう。喫煙は、化膿性汗腺炎だけでなく、健康全般に有害です。



やさしく洗って清潔を保ちましょう!!

化膿性汗腺炎は、不衛生が原因の病気ではありません。

しかし、化膿性汗腺炎を発症している場合には、二次感染を防ぐために、シャワーや入浴で清潔を保つことが重要です。

香料や他の刺激物が少ないボディソープで、手の平でやさしく洗ってください。



ゆったりサイズの綿素材の肌着と洋服がおすすです!!

肌への刺激を少なくしたほうが患部にも、痛みにも良いので、ゆったりサイズの綿素材の肌着と洋服がおすすです。こまめに洗濯して、清潔なものを着用しましょう。



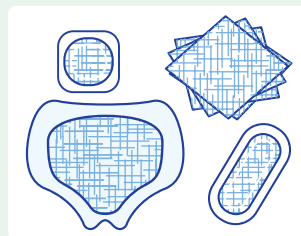
カミハリの使用は控えましょう!!

おできがある箇所のムダ毛の処理に、カミソリを使用するのは控え、電気シェーバーやハサミで短くカットするようにしましょう。また、医療機関で脱毛レーザーの処置を受けるのも一つの方法です。



皮膚保護材は、医師に相談しましょう!!

ガーゼなどの皮膚保護材(ドレッシング)は、患部の症状により、最適なものが異なります。誤った種類のドレッシングを用いると、返って悪化させることもあり得るので、自己判断で選択せずに、医師に相談してください。



悩みごとは、抱え込まないで、相談を!!

患者さんの中には、気分的に落ち込んだり、ふさぎ込んだりする人もいますが、そんな時は、自分ひとりで悩みを抱え込まず、遠慮せずに医師にありのままの気持ちを打ち明けてみましょう。



ご家族、周囲の方に 理解してもらうには？

周囲の方に病気を理解してもらうことは、
治療の大きなサポートになります。

スマートフォンで右のQRコードを読み込んでいただくと、
「化膿性汗腺炎ってどんな病気？」の動画がご覧いただけます。
周囲の方に疾患についてご理解いただくために、ご活用ください。

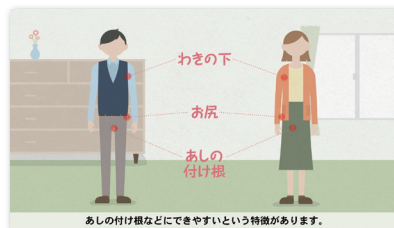
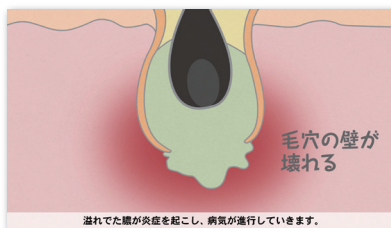
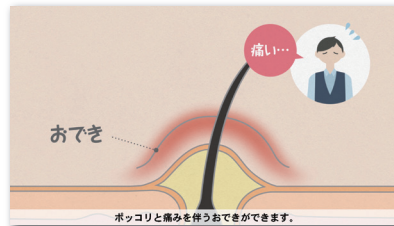
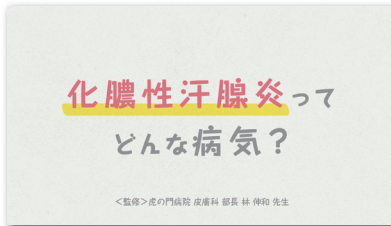
→ http://kurikaesuitaiodeki.com/symptom.html#symptom_movie



QRコード



以下は、「化膿性汗腺炎ってどんな病気？」の動画画面の抜粋例です。



これらの画像はイメージです。実際とは異なる場合があります。

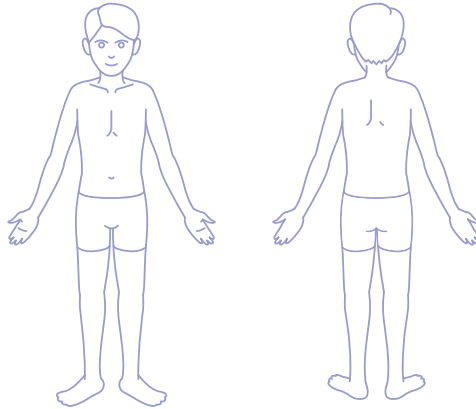
監修：国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 皮膚科 部長 林 伸和 先生

医師にどんなことを 伝えればいい？

受診の前に：医療機関を受診する前に、医師に伝えるべきことを
前もって整理しておくといいでしょう。
下記に記入してみてください。

▪ どこに症状がありますか？

症状がある場所に
○をつけてください。



▪ 症状のために、日常生活で困っていることは？

▪ どのような症状を改善したいですか？

- | | |
|--------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 膿が出ないようにしたい | <input type="checkbox"/> おできの痕 <small>あと</small> が残らないようにしたい |
| <input type="checkbox"/> 痛みをとりたい | <input type="checkbox"/> 症状の進行や再発を抑えたい |
| <input type="checkbox"/> おできをなくしたい | |

▪ 治療に対するその他の希望または疑問点

医療機関名

担当医師名

連絡先
